



相分離

近年、さまざまな細胞内プロセスの研究において「相分離」が注目をされています。「相分離」をテーマとしたシリーズセミナーを開催いたします。皆様のご参加お待ちしております。

16:00-16:05 オープニング

16:05-16:35

特別講演1

「相分離生物学：蛋白質の集合状態から考える新しい生命科学」

第1回 12/19 火
16:00 スタート!

白木 賢太郎 先生 筑波大学 数理物質系

細胞内の蛋白質が液-液相分離した状態で機能しているという報告が相次いでいる。DNAの修復や、遺伝子の転写、蛋白質への翻訳、シグナル伝達の制御、酵素の機能の区画化や基質の貯蔵、外部環境からのストレスへの応答、アミロイドへの成熟など、多岐に及ぶ生命現象が液-液相分離と関連することが明らかにされてきた。翻訳後修飾のごくわずかな化学修飾がなぜ細胞内に高次の応答を引き起こすのか、なぜ危険なプリオンが種をこえて存在しているのか、代謝の連続的な反応はなぜ起こるのか、そもそも細胞内にはなぜこれだけ高濃度の生体物質があるのか、という問いにも答えることができるだろう。本講演では、相分離生物学と呼べる新しい分野の概略を紹介したい。

16:35-17:05

特別演題2

「細胞内相分離におけるRNAの役割」

山崎 智弘 先生 大阪大学大学院 生命機能研究科

細胞内で多様な生命現象に相分離機構が関与し、生体機能を担っていることがわかりつつある。こうした細胞内相分離と切っても切れない関係にある生体分子がRNAである。本講演では、細胞内相分離におけるRNAの役割について、その概要と私たちの研究を、ニコン共焦点レーザー顕微鏡「AX」や超解像顕微鏡システム「NSPARC」を用いた事例を交えながら紹介したい。

17:05-17:25 パネルディスカッション

17:25-17:30 クロージング

特別講演

林 康紀 先生 京都大学大学院

第2回 2023年1月開催予定

<開催方法>

事前申込制/オンライン(Zoom) **参加費無料**

株式会社 **ニコン ソリューションズ**

バイオサイエンス営業本部

E-mail: Nsl-bio.Marketing@nikon.com

セミナー申込みは [こちら](#)

